

気候変動適応計画における中長期的な気候変動適応の進展の把握・評価について

気候変動適応を効果的に推進するためには、気候変動適応計画の進捗管理と見直しを行う順応的なアプローチにより柔軟に対応していくことが重要である。気候変動適応計画（令和3年10月22日閣議決定。以下「適応計画」）の進捗の管理・評価に当たり、短期的な施策の進捗管理については、適応計画に基づく施策の進捗状況、KPIの変化について気候変動適応推進会議でフォローアップを行うこととしている。

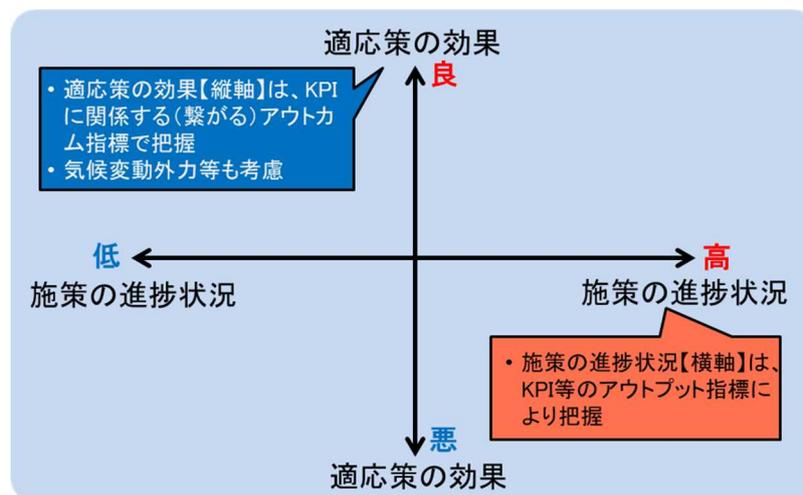
中長期的な気候変動適応の進展の把握・評価する方法については、今後、関係省庁とも協議しながら検討を進める。

適応計画（抜粋）

短期的な施策の進捗管理については、分野別施策及び基盤別施策に関するKPIを設定し、年度ごとの指標の変化を確認するとともに、関係府省庁により構成される「気候変動適応推進会議」においてフォローアップを行うこと等により、計画に基づく各施策の進捗状況を的確に把握する。また、中長期的な気候変動適応の進展を把握するための指標を設定し、5年ごとに適応策の効果を把握する（中間年に中間報告書を作成）。

■気候変動適応の進展把握・評価のイメージ

現在、環境省において、各々の分野別施策、基盤的施策について施策の進捗状況（横軸）・適応策の効果（縦軸）に係る指標を設定し、気候変動適応の進展を把握するための手法の検討を進めている（イメージは下図）。



■スケジュール（予定）

- 12月 上記イメージ図に基づき、気候変動適応の進展把握・評価の検討
- 年内 関係府省庁に検討素案について照会
- 2月 意見を反映し、検討案を提示